

国民に信頼される原子力安全規制組織等の改革に向けて
－原子力事故再発防止顧問会議提言 骨子（目次案）－

1. 提言の背景（福島事故から得られた教訓と課題）

- ・ 福島事故による放射性物質の拡散を防止できなかったことを分析することが原点。
- ・ 組織体制、規制の実効性、危機管理体制及び組織文化に問題。
- ・ 国民に信頼される実効性のある原子力安全規制組織及び新たな発想に立つ規制が不可欠。
- ・ この提言に沿った原子力安全規制組織等の改革を要請。

2. 原子力安全規制組織等の改革の基本的な考え方

3. 具体的な対応策

※ 当面の対応である原子力安全庁（仮称）の組織や、原子力安全規制強化の在り方について、下記（１）～（５）の観点から検討し、提言。

- （１）「規制と利用の分離」による信頼される規制機関の設置
- （２）原子力安全規制の「一元化」による機能向上
- （３）「危機管理」体制の整備
- （４）組織文化の変革と優れた「人材」の育成
- （５）「新安全規制」の強化

4. 中長期的な課題

（例）

- ・ 国民の不安を的確に受け止め、「原子力のリスク」を明確化する。

等